

新

春

を



津島市長
日比 一昭

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、市民の皆様からご信任を賜り、3期目の職務に就かせていただきました。津島市の「価値」を高めるため、「つしま成長戦略 第3弾」を確実に進め、津島市の更なる発展のため全力を尽くして取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症対策としては、小中学校、保育所、認定こども園、幼稚園の給食費無償化をはじめ、これまで第1弾から第15弾までの171事業、総額約124億円の事業に取り組んでまいりました。

また、18歳までの「子ども医療費完全無料化」の実施のほか、AI機能を持った人型ロボットとプログラミング可能なブロックを、全国初の規模として導入いたしました。日本一のプログラミング教育を目指し、「楽しくて役に立つ教育」により、子どもたちの学びに対する関心・意欲を高める教育を実践しています。

本年は、市内全ての小中学校体育館にスポットエアコ

ンの導入や、全ての小中学校の照明をLED化するグリーン(脱炭素)事業のほか、体育館等の学校施設の改修を進めてまいります。児童生徒の皆さんが、快適な環境で安心・安全に学校生活を送れるよう、教育環境の充実と、津島市の未来を担う大切な「宝」である、子どもの健やかな育成を図ってまいります。

今月から、高齢者の方や、障がいのある方、妊産婦の方を対象とした「津島おでかけタクシー事業」がスタートしました。また、子育て支援施策として、「つしま出産応援金」「つしま出産祝い金」を創設いたしました。安心して出産・子育てができる環境づくりを進め、子どもたちが津島で夢がかなえられるまちづくりを目指してまいります。

さらに、将来に向けたまちづくり戦略として、津島市の玄関構想の実現に向けた「津島Next Move!」事業のスタートとして、津島駅東側駅前広場整備事業が始まります。

天王川公園Park-PFI事業のほか、民間企業よりいただきましたご寄附を活用し、天王川公園の更なる魅力づくりに向けた「公園整備事業」により、今年、天王川公園が新たに生まれ変わります。皆様、ご期待ください。

「住んでみたい」「住んでよかった」と思っただけ、わくわくする津島市を目指して取り組んでまいります。

本年が、市民の皆様にとりまして、健康で幸せな一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、愛知県政150周年を迎える中、スタジオジブリの作品群を凝縮した「ジブリパーク」が開園した記念すべき年となりました。

さらに、国際芸術祭「あいち2022」の成功、愛知国際アリーナやSTATION Aiの工事着手など、これまでに積み上げてきた愛知の力を礎に、更なる飛躍に繋がるビッグプロジェクトを着実に前進させ、愛知が「躍進」する1年となりました。

世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、カーボンニュートラルを目指す潮流などにより、大きく変化をしています。愛知県が日本の成長エンジンとして、活力を生み出していくためには、こうした時代の波を乗りこなし、イノベーション創出に挑戦していかなければなりません。

今年も、海外の有力スタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知のモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、イノベーションを次々と生み出す「国際イノベーション都市」を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立、社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上に力を注いでまいります。

来年度、ジブリパークでは、「もののけの里」と「魔女の谷」が開園します。「ジブリパークのある愛知」の魅力国内外に向けて発信してまいります。

「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

迎

え

て



津島市議会議長
安井 貴仁

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、市政並びに市議会の活動に対しまして、皆様の温かいご理解とご支援を賜り、円滑な議事運営ができましたことに、心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策に取り組みながらも、経済活動・日常生活との両立をより強く目指した1年となりました。市でも、縮小開催ではありますが、尾張津島天王祭、尾張津島秋まつりを開催することができ、久方ぶりのお祭りのにぎやかさに、心が躍る思いがした方も多くいらっしゃったと思います。

さて、コロナを機として、新たな局面を迎えたものが多くあります。現在、市議会では、議会のICT化を進めてお

り、昨年は、津島市議会委員会条例を改正し、議員がオンラインで委員会に出席することが可能となりました。これにより、例えば、重大な感染症のまん延により、市役所に来ることができない議員もオンラインで委員会に出席でき、議会機能の停滞を防ぐという効果が生まれました。さらに、ICT化の次の段階は、議会のペーパーレス化を目指しています。現在使用している膨大な紙資料を電子化することで、議会・議員活動の効率化と、環境負荷の軽減に取り組みます。

コロナ以外にも、自治体の課題は、人口減少、物価の高騰、安心安全のまちづくり、子育て支援と、山積しています。こうした中、市議会は、多様な市民の皆様の声を聴き、市に届けることで、課題の1つひとつに真摯に取り組んでまいります。

わたしたちの任期は4カ月を残すのみとなりましたが、全議員が一丸となり、津島市のさらなる発展のため尽くしてまいりますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして、本年が市民の皆様にとりまして、幸多き良い年となりますよう、心よりお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



愛知県議会議員
中野 治美

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年7月、愛知県津島警察署の新庁舎が完成し、8月より運用が始まりました。地域の安心安全の要として、また、災害時には被災者の救出・救助等の拠点として、機能が強化された

庁舎です。

また、11月1日には、これまで愛知県が「愛・地球博記念公園」内に整備していましたジブリパーク5エリアの内、「青春の丘」「ジブリの大倉庫」「どんどこ森」の3エリアがオープンしました。残る「もののけの里」は今年秋、「魔女の谷」は来年3月にオープンする予定です。愛知万博を知らない世代の方にも、そのテーマである「自然の叡智」を感じ取りながら楽しんでいただけることを期待しています。

教育は、未来へつなぐ希望です。社会が大きく変化していく中、答えのない社会的な課題にチャレンジし続ける人を育成するため、愛知県立高校への併設型中高一貫教育制度の導入が決まりました。その第一次導入校として、津島高等学校に令和7年4月併設中学校が開校することとなりました。

愛知県では、主要地方道名古屋津島線のバイパス整備を進めています。現在、七宝工区、莪原工区、牛田工区において整備中です。また、地域高規格道路一宮西港道路（東海北陸自動車道の南伸）は、国の直轄事業となり、国が事業化へ向けて概略ルート等の調査に着手しました。いずれの道路も、物流・人流を高めるとともに、災害時には救援・支援活動等の「命の道」でもあります。早期完了、整備されるよう努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症への対応、防災・減災対策、医療・福祉の拡充、子育て支援の充実等、取り組むべき課題は山積しています。時代の要請と皆様をしっかりと受け止め、尽力してまいります。

本年が、皆様にとりまして幸多き明るい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。